

県連ニュース

2020年 8月号 NO-517



『三俣山荘 2018. 7. 27』

滋賀県勤労者山岳連盟

2020年 8月号 目次

エッセイ	コロナ対応下の日々に思う・動く	2
寄稿	安全について	3
お知らせ	今月号から用紙サイズがA4に	3
	ステップアップ登山講座開講	4
	交流月間概要	5
報告	第4回理事会報告	6
	個人山行報告	8
	近畿ブロック代表者会議議事録	10
ぐうたら会長のつぶやき		12
予定表		14

表紙の写真：『三俣山荘』

撮影者 湖南岳友会 蒲生 泉 2018.7.27

コロナ対応下の日々に思う・動く

比良雪稜会 古川哲郎

新型コロナ問題では、家の中に閉じ込められ、いろいろなことが思い出された。まだまだ続きそうだが、これまでの短い期間でも随分いろいろなことがあったと驚いている。特に、今の社会で働き方に大きな影響を与えることの一つとしてテレワークがある。今までも一部の人にはテレワークは認識されていたが、日本の社会全体でその可能性が認識されたことは大きい、これから働き方はどんどん変わる気がする。危機はチャンスとよく言われるがネット通販の拡大などデジタル社会で可能性があると言われていることは、どんどん取り入れられ、ダイナミックに変化するだろう。

振り返ってみると私の活動期だけでも随分いろいろな危機があった。第一次石油危機、阪神淡路大震災、東日本大震災と原発事故、このところ多発する自然災害などなど……。石油危機ではトイレットペーパーが無くなり大問題になった。規模は小さいが今回のマスク不足、消毒液不足など相変わらず同じようなことが起こっている。しかし、この石油危機では円が変動制に移行したことが大きい。阪神淡路では都心での被害から大阪を始め全国からボランティアが集まり日本にボランティア活動が定着した。東日本大震災ではボランティアが大いに活躍したが、原発への対応はほとんど変化が見られないような気がする。さらに、近年多発する自然災害では気象予報など情報の共有、避難の徹底などに改善はみられるが、本質的な対策はお手上げ状態のような気がする。自然相手では当たり前かもしれないが……。

振り返って、わが労山滋賀県連では理事会はメールで済ましたり、外部の会議室でやったり……。そこで事務所不要論が話題になったり、とどさくさに紛れてとは言わないが、変化している。さらに県連ニュースは懸案の電子データのための配信が実施され、用紙サイズはA4版にするなどあまり抵抗なく変っている。

さて、私自身はというと久しぶりに草川恵三氏の「登る、比良山」を読み直し、近くの山で興味深いところがまだ沢山あることを再認識した。コロナが終わり、気候が好くなったら行こうと思っているが、コロナ緊急事態宣言解除後、梅雨の長雨が続いており、フラストレーションは溜まるばかりである。そこで当日雨が降らないようなら出かけることが出来る、短い山行計画をいくつか作り、出かけることにした。7/16日雨の切れ目のようだったので、新しく開かれた比叡比良縦走路となっている上龍華から霊仙山へ直登するコースに行ってみることにした。10:30上龍華バス停を出発、12:30頂上でおにぎりを食べ、14:30下山し、雨の合間をぬい、うまくいくことが出来、フラストレーション解消に大いに満足した。皆さまこんなミニミニ登山を試してみたらいかがでしょう。



雨切れ目霊仙山からの琵琶湖 (20200716)

<寄稿>

安全について

会長 友永芳和

○「下界でできることはたくさんある」

経験というのは、山に行く回数もありますが、一回一回の山行の内容をよく考えることで身に着くものです。経験者が教えてくれること、やっていることを聞いたり、見たり真似したりして、その意味を考えることも必要です。日常的には、雑誌や技術書、入門書、時には先人の足跡をたどれる記録や随筆などを読んだり、仲間との情報交換や語らいの中からも、興味さえあれば学ぶことができます。一般には山に入る時間より、下界にいるほうが多いのですから、自分自身で学ぶことが多いはずで、この知識や技術を山で検証する作業が本当に身に着く経験になると思います。それともう一つ、知識、技術に加えて体力も必要です。フリークライミングなど新しいジャンルを追求しようとすれば、その基礎となる筋力や柔軟性も必要となります。少し前までは、他のスポーツに比べて登山者の体力は劣っていました。山に行く事がトレーニングだと言う人もたくさんいました。山を健康維持の手段としてならそれでも良いのですが、より高い目標の山に登りたいと思ったら、その目標に合わせて体力の向上も必要です。目標の山頂に立つために、経験や努力を積み重ねて、念願の山頂に立った時、初めに一步踏み出した時に比べて格段に健康になり、強くなっている自分に気づくはずで、

山に登るために学ぶ事、体力トレーニングする事、これも新しい山へ向かう入口だと思います。

「本読んでますか？ 走ってますか？」ムネに手を当てて考えてください。

※次は「事故が起こったら」です。

<おしらせ>

県連ニュースは

今月号から A4版と大きくなりました！！

字の大きさも一段階大きくし読みやすくなったと思います。

プリントするときは A4用紙をご用意下さい。

一步先の山へ！

--- ステップアップ登山講座 2020 開講のお知らせ (第 1 報) ---

この講座は、自分の技術や経験ではちょっと心配、でも登ってみたい。そんな「一步先の山」を目指す人を対象にしています。山は一期一会。山は逃げます。「登りたい」と思った時がその時です。心に残る山登りを体験して山の世界を広げましょう。山行後に LINE ミーティングによる反省会を行い、技術と知識の確実な習得を図ります。また、新型コロナウイルスの感染予防に十分配慮した講座運営を行います。

■新型コロナウイルス感染予防対策

1. オリエンテーション LINE グループミーティングを使用して行います。
2. マスク、消毒薬 講座でも用意しますが、原則受講生各自で用意をお願いします。
3. 一人用テント 3密を避けるため一人用テントを用意してください。テントの用意に関して相談に応じます。
4. 食事 感染予防に留意した食事にします。詳細はオリエンテーションで説明します。

■日 程：2020 年 9 月～2020 年 11 月

- ・実技講習（4回）を通じて登山技術と知識のレベルアップを図ります。連続受講をお勧めしますが、各回独立した内容なので単回受講も可能です。
- ・受講希望者を対象にオリエンテーションを行います。
- ・日程（案）と山域は第 2 報で案内し、オリエンテーションで調整します。

■山 域：裏剣・池ノ平～仙人池、雨飾山、南アルプス深南部などを予定

■講 師：秋田誠（彷徨倶楽部）、クライミング研究会会員および外部講師

■講習内容：

1. 無雪期テント泊、ピバーク技術
2. 秋山の気象、読図
3. 岩稜通過技術、ロープワーク

■募集人数：8 名程度

■受講料：1 回 2,000 円、テキスト、資料代を含みます。実技講習の交通費、食料費などが 必要です。申込金は要りません。

■申込み／問合せ：

TEL 090-3727-3721、秋田
(18:00～21:00 にお願いします。)

ショートメールも可
e-mail dekameno@gmail.com

■申込期限：9 月 3 日（木）



小窓雪溪から剣岳

《行事予告》

県連山岳交流会

今年の総会（代表者会議）において、毎年恒例の比良縦走大会に変えて、各会会員の交流と親睦、情報交換を図ることを目的に県連山岳交流月間（9月）を設けました。各会の9月例会を交流例会とし県連ニュースに公開し、県連会員が自由に参加できることとしました。

現在決定されている交流例会は以下のとおりです。参加をご検討ください。

滋賀山友会 9月12日（土）比良 中井新道～ヤケオ山

湖南岳友会 9月6日（日） 比叡山

比良雪稜会 9月27日（日） ①白滝山～打見山

②小女郎峠～打見山

両コースとも清掃登山を兼ねます。

ちごゆり山歩会 9月27日(日) リトル比良・岳山

清掃登山を兼ねます。

シャクナゲ遡行クラブ 9月27日(日) 坊村～鎌倉山～町居

彷徨倶楽部 9月27日（日） リトル比良・見張山

詳しくは9月号に掲載します。

<報告>

2020 年度第 4 回理事会議事録

7 月 1 日（水）19：00 - 20：30 場所 明日都浜大津 1 階 フリースペース
077-527-8661

出席 友永、中島、高玉、宮内、今村、古川、藤関、渡壁、平山、山元
(理事会定数 11 名)

欠席 池田、田中（連絡あり）

議 題

1. 9 月交流月間 について 担当・教育遭対
県連ニュース 8 月号(7/20)に予告を掲載を入れる（担当・今村）
9 月号に詳細（日時・コース・申し込み窓口等）を掲載（担当・今村）
山友会 9/12 土 比良 中井新道～ヤケオ山
岳友会 9/6 日 未定
彷徨 9/27 日 リル比良 見張山
雪稜会 ちごゆり シャクナゲ 日程未定
8 月（7/15 締め切り）の県連ニュースに間に合うよう
各理事は所属会に伝え、結果を今村に伝える
2. 秋の「清掃登山」について 会員と会員の友人に限定しての参加とする。
 1. 米原市・伊吹山（10/4 山友会）
 2. 多賀町・高室山（岳友会）
 3. 近江湖南アルプス・天狗岩（10/4 山友会）
 4. 竜王町・雪野山（11 月・彷徨）
 5. （雪稜会） 実施方向で検討
 6. （ちごゆり） 問い合わせる/宮内
 7. （シャクナゲ） 問い合わせる/宮内
3. 山登りを始める人の講習会 10 月で講師の方と日程調整
候補日 土曜日 10/3. 10. 17. 24
日曜日 10/ 11. 18
25 日の登山祭典に参加できるように設定したい。
- 4 「勧誘ちらし」について 担当・組織部 9/2 理事会で配布予定。
組織部からの案の提示があり、意見交換。
 - ・理事から会で検討してもらい、7 月末までに組織部に返信のこと。

- ・写真についても、各会から提出してもらうこととする。

5. 代表者会議 11月4日開催予定

web会議が出来ないか代表に検討をお願いしてみる。

6. 各部報告

- ・組織 会員数動向（前年年度末 /207）

山友会	岳友会	雪稜会	彷徨	ちごゆり	シクナゲ	2020.6/20205
65/65	42/42	45/45	9/10	17 /17	5/5	183 /184
(32+33)	(22+20)	(26+19)	(6+3)	(7+10)	(3+2)	

- ・自然保護部
- ・教育・遭対部
- ・機関紙部：PDFのみの配信の状況、県連ニュース8月号からA4判に変更
これ迄特に異論はなかった。
- ・財政部
- ・CSS
- ・SKI・NET

7. その他 覚え書き

- ・6/24 近畿ブロック代表者会議報告（出席・友永会長）
4/5 中止になった搬出講習会・財政・宮城県連との交流会について
広域理事から「全国連盟からの報告」の中で
各山小屋への補償支援についての要望書を地方連盟も要望書を送って欲しいということで、滋賀県連も要望書を内閣府と内閣総理大臣宛に提出することを決めた。（担当・友永）
署名活動・募金活動は、全国連盟の歩調に合わせる。
- ・登山祭典を一般募集にするかで、県連としては、一般募集はしない方向でちらしの作成は見送ることにするが、各会の判断に任せる。（代表への連絡・宮内）
- ・来年度の総会日程 2021.3.7 スポーツカ会館
- ・安全対策基金の申請 4月に申請済み
- ・全国基金担当者会議（6/20～21・全国連盟事務所） 延期
- ・労山創立60周年記念行事(6/21・東京) 延期 11月4日に決定。申し込み
- ・全国遭難対策担当者 Web 会議(7/4～7/5) 不参加
- ・第23回労山自然保護講座 in 大町 7/11(土)13時～7/12(日)12時
会場 長野県山岳総合センター 不参加
- ・全国ハイキング交流集会についての Web アンケートのお願い
- ・2021年版 労山カレンダーの写真募集」締め切り終了・

次回 第5回理事会 9/2 水曜日 19:00～20:30 明日都浜大津

8月は、休会 テストでWeb会議を8/5水曜 午後8時～1時間程度

三段山・前十勝岳山スキー報告

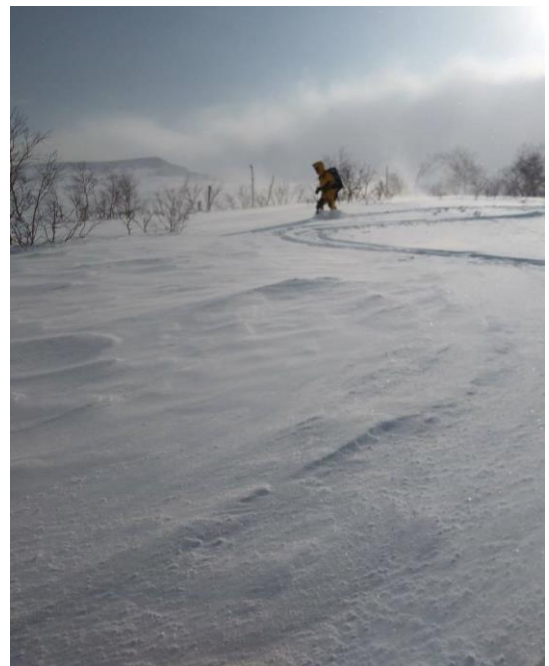
- 日程：2020年2月21日(金)～24日(月) 参加者：谷内 (CL 記録) 村田
行程：2/20 村田宅 13時～15時中部国際空港 17:45 (エアアジア DJ009 便)
＝新千歳空港 19:30 (トククインカ-トヨグァイツ 4WD) 20時＝クイーンズホテル千歳 (泊)
21日 千歳＝上富良野町＝吹上温泉保養センター白銀荘
宿 12時…1078m 地点…三段山 1290m 地点 15時～15:30→吹上温泉 16時 (泊)
22日 (雪) 宿 9時…フリコ沢横断…カワバラ尾根…前十勝岳 1325m 地点 10:30→フリコ沢
11時→宿 11:30 (泊)
23日 (曇り・雪) 宿 9時…フリコ沢横断…カワバラ尾根…10:50 前十勝岳 1370m 地点 11:10
→フリコ沢→宿 11:40 (昼食・入浴)
宿 13時…14:30 1260m 付近 14:30 (滑降コースと合流) 15:20 三段山 1330m 付近
15:40→宿 16時 (泊)
24日 (晴) 宿 8:35…フリコ沢横断 9:10…カワバラ尾根…10:15 前十勝岳 1380m 地点 10:30
→フリコ沢 10:55→宿 11:15
25日 (晴) 白銀荘 9時＝(道央自動車道)＝11時千歳イオン (昼食) 12時＝千歳いなか
13時＝13:30 新千歳空港 16時＝18時中部国際空港 (帰途)

21日 ホテルを朝出発し千歳市のイオンで食料品を調達、上富良野町の白銀荘へ向かう。昼食後、白銀荘から三段山に向けて開けた沢状のルートでシールを登る。2段目上の尾根状の地点まで登るがアイスバーンが現れ、クラストしてきたのでシールを外し、宿まで滑った。少し重い雪でパウダーの感触は無かった。

22日 朝から前十勝岳へ。沢の渡渉地点は昨年1月に来た時よりも口が大きく開き、雪のブリッジが狭く薄い感じ。先行者のルートを通って沢沿いに、途中から尾根に向かって急なトラバースをシールで登り、冷汗をかく。カワバラ尾根に出るとガスで上部は視界不良。風も出てきたので1325mあたりまで登って尾根を滑る。沢から宿まで高度差はほとんど無いが帰るルートを変えたのでラッセルもあり難儀した。

23日 再び朝から前十勝岳へ。昨日よりは上部の1370m付近まで到達。昨日よりは視界はあるが眺めは良くない。尾根を忠実に滑り、宿へ戻った。

昼食・入浴後、天気は曇りで風がそれほど強くなさそうなので午後は三段山へ。尾根伝いに登り、上部で滑降ルートに出合い安心。樹林帯の無くなる1350m付近で15時を過ぎたので滑降ルートを滑る。昨日までの新雪でパウダーも満喫できた。



(前十勝岳 カワバラ尾根を滑る)

24日 最終日は前十勝岳へ。ようやく晴れる。

昨年到達した最高地点の1380m付近まで登高する。この上はアイスバーン状で噴煙が見え、今も十勝岳が活動中であることを実感する。



(三段山を滑る)

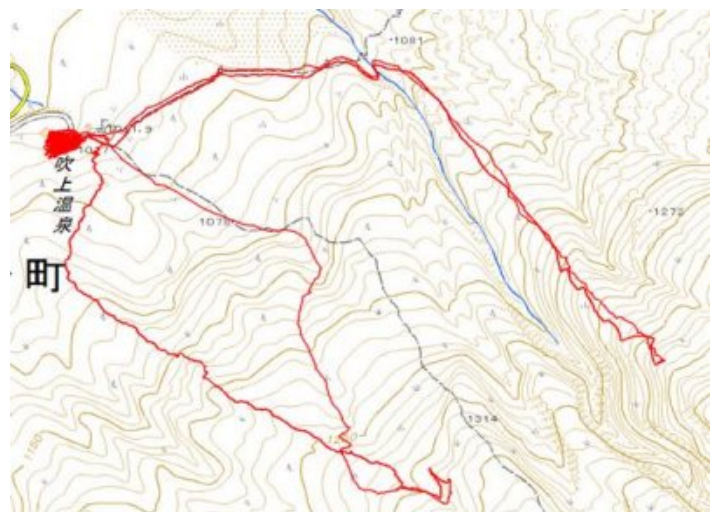
滑り始めからしばらくは雪が固く、スキースキ操作もままならなかったが、途中から絶好のパウダーとなり沢出合まで一気に滑り降りた。最終日の25日は快晴となり今まで見えなかった十勝連峰が見渡せ、もう1日滑れたらと後ろ髪を引かれながら空港へ向かった。



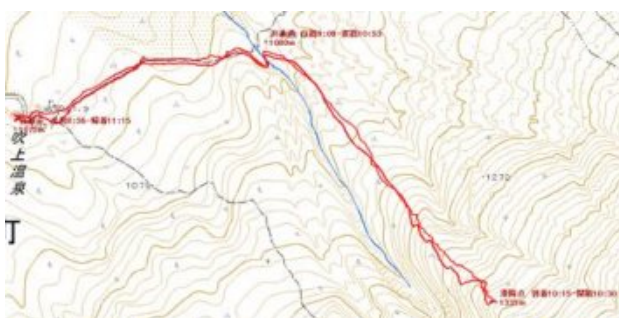
22日 カワバラ尾根・軌跡



23日 カワバラ尾根・三段山軌跡



24日カワバラ尾根軌跡



<報告>

近畿ブロック代表者会議事録

■日時 2020年6月24日(水) 19:30～

■場所 大阪府連事務所

■出席 滋賀(友永)、京都(坪山)、大阪(園)、奈良(豊田)、和歌山(山入)、兵庫(吉谷)、全国(加納・野々脇・澤村)

■議題

(1) 搬出講習会について

→コロナウィルスの感染防止で中止

→申込状況

①ハイキング→20名うちQRコードからは4名

②岩・セルフ→11名うちQRコードからは7名

③岩・経験者→10名うちQRコードからは5名

④岩・初心者→14名うちQRコードからは14名

⑤岩・尾根→27名うちQRコードからは9名

※初めてQRコードからの事前申し込みをしたが中止となったので効果のほどは不明。

来期は兵庫と奈良の判断

※テキストは兵庫県連に渡す。追加差し込み分は滋賀で印刷して一緒に渡す。

(2) 近畿ブロックの財政について

① 搬出講習会の会計報告

収入 100,000円(全国連盟安全対策費より)

支出 交通費 36,820円 テキスト代 65,160円 会場代 10,100円 振込費 1,080円 合計 113,160円

※詳しくは別紙

② 安全対策基金申請→10月に行う

③ その他

(3) 近畿ブロックと宮城県連の交流会について

先日の総会後の懇親会で、京都の中村さんから提案があり、宮城の岡理事長と話し合って交流会を開催したいとなりました。→コロナ感染防止のため今回は見合わせ。

(4) 全国連盟からの報告→広域理事 澤村・野々脇さん

※女性委員会は委員が不在となった。→3役で実施ほかを検討する。

※労山基金の申請状況のデータを公表してもらった。

※UIAAハンドブックの紹介と購入依頼。

※各山小屋への補償支援についての要請書を内閣府と総理大臣あてに各連盟で送って欲しい。

※近畿ブロックでも署名活動や募金活動をしてはどうか。

※全国連盟に山小屋支援のクラウドファンディングを労山として取り組んで欲しいと要望する。

(5)各府県連盟の報告→詳しくは別紙

①滋賀県連

※2019年登山祭典 10/27に5コースで会員83名、一般55名 合計138名で実施

※第2期ハイクセミナー実施 3回 講習生1名

※会員数 12月末205名 5名減少

※第44回総会は中止し、代表者会で議案書の承認を受ける。

※清掃登山中止。支援金をもらっている山域は10月に実施予定

※4月29日に矢筈が岳で死亡事故発生→別紙

②大阪府連

※第58回総会は延期を繰り返したが、書面決議形式にして6/23に関連書類を送付し、7/10必着で投票書類の返信を要請

※山小屋救済のための緊急要望書を内閣府と総理大臣に6/23郵送した。

※中級登山学校、女性のための登山教室、夏山ハイクセミナー、初級アルパイン学校は中止

※クリーンハイク中止。救助隊搜索訓練は延期。長距離縦走は検討中。

③奈良県連

※クリーンハイク中止。

※6/27 運動生理学講演会実施予定 講師1名 参加者19名 キャンセル待ち3名

※7/4 女性委員会主催テーピング講習会中止

※7/26 ちびっこ沢登り隊、8/30 ちびっこ遊び隊は連盟内部で募集

※連盟各会は5月いっぱい山行自粛をしていたが、6月からはコロナ対策を実施して行う予定

④和歌山県連

※2019年10月20日県連交流ハイク実施。丹生酒殿神社から丹生都比売神社。参加者7会40名

※2019年11月17日第46回長距離縦走 紀泉アルプスで実施 参加者一般61人 会員52人

※組織数 2019年11月末 11団体 352人 5人増

※第47回総会延期 7月に書面投票で議決予定

※メガソーラ計画 和歌山市条例改正で小規模も対象となった。3つの計画がある。

⑤兵庫県連

※総会6/14を6/20に延期し、各会代表1名で実施

※山行活動再開に向けて兵庫労山としてのガイドラインを作成中

※第54回六甲全山縦走、中級ハイク講座、セルフレスキュー講習、清掃登山・集会、山での応急手当と講演会 いずれも中止

※7/16 夏山山行計画連絡会 各会から山行計画書を提出してもらい情報共有をはかる。

⑥京都府連

※青少年交流企画、クライミング委員会行事中止

※大文字山台風被害登山道整備

※11/9.10 京都府連盟交流会

※11/16.17 搜索訓練

※クリーンハイク中止

※積雪期搬出技術講習会実施

※2/29 読図勉強会実施 110名参加

※初級登山教室は来年度へ延期

※公開ハイク講座、女性のための山登り講座、無雪期救助隊搬出講習会は中止

※気象勉強会、冬山勉強会は8月開始予定

※救助隊員勉強会9月に延期

※コロナ禍下における山小屋を守る取り組み、自肅要請下での登山遂行、非常事態宣言下での登山自肅方針などを提起

各連盟とも会議などはウェブやライン、メールなどで三密を避けて実施。

(6) 会計より

※2019 年会計収支報告→詳細は別紙で報告済み

収入 533,953 円 支出 486,305 円 残高 47,648 円

久々に黒字決算になりました。ご協力ありがとうございました。

※2020 年度搬出技術講習会決算→詳細は別紙で報告済み

収入 100,000 円(全国連盟安全対策費より) 支出 113,160 円

新型コロナウイルス感染拡大につき中止した。

※会計の交代を要望→各県持ち回りにすればどうか？

(7) その他

※山筋ゴーゴー体操を広げる→新しいDVDも作成予定

〈次回開催〉 日時/2020年10月21日(水)19:30～ 場所/大阪府連事務所

司会 滋賀県連 記録 奈良県連

ぐうたら会長のつぶやき

コロナの外出自肅が解除されて山に行こうと思ったやさき、各地に大雨の被害がでてしまいました。滋賀も大雨警報が出されてなかなか山に行けない状態が続いています。私はコロナの自肅期間中に少し体重が増えてしまいました。なんとか努力して少しずつ体重は減って来たのですが、問題は体脂肪が少しも減らない事です。体重が減って体脂肪が減らないと言う事は、筋力や骨が衰えているという事です。体は使わないと、もう必要ないのだと、自律神経が判断して減らしてしまいます。何らかの刺激を与えて、筋力も骨も必要なんだと知らせなければなりません。ベッドを支えにしてスクワットをしたり、腹筋や腕立ても始めたのですが、その分ビールの消費量も増えてしまいました。いったいどうすれば良いのでしょうか。

最近、本の整理をしています、そのまま捨てるのは勿体ないので、改めて読み返しています。若い時に読んだ本を読み返すと、あんなに感激して読んでいたのがウソのように、何となく気分が高揚しません。白

けた気分で読む事も多くなっています。それなら読まずに捨てればよいものを、貧乏性なのかついつい読んでしまいます。もっとも死ぬまでに全部読み返すのは無理なので、読む本を選ばなければならないのですが、それもつつい迷ってしまいあれもこれもと残してしまいます。棺桶と一緒に入れてもらいたい本を早く決めなきゃ～。

比良の沢、第 11、12 弾です

No440 87-17

貫井谷左俣(比良の沢) 1987 年9月5日 晴

(コースタイム)上貫井 9:40---10:25 二俣 10:40---11:35 50m ナメ滝上---12:35 ゴルジュ最後の 20m 滝 12:40---13:10 武奈ヶ岳 13:30---13:50 ワサビ峠---14:50 梅ノ木

(報告)

上貫井下車。左岸沿いの道に行く。途中で道を失ったので沢に入る。45 分で二俣に着く。思ったより水量が少なく本当にここかなと迷った。左俣に入る。2段の小滝を越す。ガイドでは難しい様に書いてあったので、かなりびびっていたが、特に難しくも感じずに遡行は進んだ。50m ほどの長いナメ滝を越して休む。続いて小ゴルジュ帯を気持ち良くどンドン登った。20m ほどの滝を過ぎるとゴルジュも終わり少し行って沢から出た。藪を漕ぐ事も無く 13 時 10 分武奈ヶ岳の山頂に着いた。水量が少なかったせいか易しく感じた。3つほど空荷で登った滝があった。風が強く時折り薄日の差す山頂を出発して、西南稜をワサビ峠まで下り、峠より三舞谷経由の道で梅ノ木に下山した。

No463 88-1

中谷右俣(比良の沢) 1988 年4月7日 小雨

(コースタイム)

志賀 11:10---12:00 荒川峠入口---12:20 二俣 12:30---13:35 縦走路 13:45---14:50 荒川峠入口---15:25 志賀

(報告)

3月は休みの度に天気が悪く出渋っていたが、今日は堪えきれずに出発。本年度最初の山行は雨の沢登りです。雨の中を志賀駅から荒川まで歩き林道に入る。途中の堰堤工事で道が判らなくなって藪漕ぎ。荒れた林道が左岸につけられていた。荒川峠入口を過ぎ大岩谷を渡る所は、土砂崩れが酷く上ばかり見て歩いた。道が細くなり中谷側に出た所に崩れかけた小屋があった。小屋の先で右の斜面を登り小道に出る。小道を行くと最後の堰堤に出て二俣に着く。辺り一面ゴロゴロの岩ばかりだった。ここで地下足袋に履き替えた。雪解けの水に足をつけると、しびれる様に冷たかった。後は出来るだけ水に入らないように登った。小滝が多く夏だったら快適なシャワークライクが出来て楽しめそうだ。しかし、今日は水に入るのはゴメンだ。7m ほどの滝を過ぎると小ゴルジュ、別にどうと言う事も無く通過。次々と出て来る小滝をどンドン越える。流れも細くなり残雪も姿を見せた。10m の滝は少し緊張して越えた。その上はいよいよ源流帯、滑り易い急な斜面を灌木にしがみついて登る。沢から出てササの中に入るが、ササの上に積もった雪が体にかかり大変寒い。手足がかじかんで感覚が薄れてしまった。急いで縦走路に出て着替えをすませ、大岩谷経由の道を辿り朝の登山口に戻った。まだ少し早い沢登りだった。

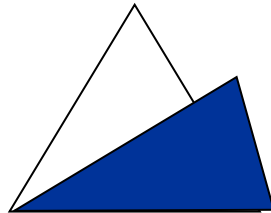
行事予定

月	日	県連・全国行事	月	日	各会の行事	会名
	1	奥の深谷(CSS)				
				8	隠れ滝(そうめん・てんぷら山行)	ちご
				15	ハイキング部例会(鞍馬～貴船川)	山友
8			8			
				23	松尾寺山	ちご
				28-30	焼山～火打山	彷徨
				29-30	妙高山～火打山	彷徨
	2	理事会(明日都浜大津)		6	音羽山	ちご
	6	北小松しし岩(CSS)		6	交流山行(比叡山)	岳友
	7	ステップアップ登山講座2020		12	交流山行「中井新道～ヤケオ山」	山友
		LINEオリエンテーション		12-13	中央アルプス 念丈岳	彷徨
9			9	13	ハイキング部例会「鎌倉山」～八丁平	山友
				16	ミーティング	彷徨
	19-22	ステップアップ登山講座2020 北ア・裏劔、池ノ平、仙人池		26	秋山集中	山友
				27	交流山行(鎌倉山)	シャク
				27	交流山行(小比良・見張山)	彷徨
				27	交流山行:兼清掃登山(比良2コース)	雪稜
				27	交流山行(岳山・清掃登山)	ちご
	3	京都北山 金毘羅山(CSS)		3-5	岩手山 早池峰山	彷徨
	7	理事会(明日都浜大津)		4	伊吹山(体験教室・清掃登山)	山友
				4	天狗岩(清掃登山)	山友
	10-11	ステップアップ登山講座2020 頸城・荒菅沢～雨飾山		10	阿星山	ちご
				9-11	白山縦走	彷徨
				16	ミーティング	彷徨
				17	岩湧山(ダイトレ)	彷徨
10	25	登山祭典(各会)	10	18	ハイキング部例会	山友
				25	登山祭典(太郎坊山～箕作山)	彷徨
				25	登山祭典(烏谷山)	ちご
				25	登山祭典(音羽山)	山友
				25	登山祭典(場所未定)	雪稜
				25	登山祭典(場所未定)	岳友

会名略号 山友:滋賀山友会、岳友:湖南岳友会、雪稜:比良雪稜会、ちご:ちごゆり山歩会

シャク:シャクナゲ溯行クラブ、彷徨:彷徨倶楽部

スキーネット:山スキーネット滋賀、CSS:クライミング研究会滋賀



2020年9月号の原稿は、8月15日〆切です。
原稿の投稿先は tfurukawa@dj8.so-net.ne.jp まで、
用紙サイズは **A4**、フォントは本文 **11~12**、タイトル **14~16**、
余白は上下左右 **19mm**とし、
使用する写真は **200KB 以内**としてください。
皆様のご協力をお願いいたします。

「県連ニュース 8月号」 No.517

発行日:2020年7月20日

滋賀県勤労者山岳連盟

TEL 080-4971-6231

〒520-0836

Email shigarosan@gmail.com

大津市杉浦町 9-30

ゆうちょ銀行（店名 418）

<http://shigarosan.jimdo.com/>

普通 0239956

発行責任者 宮内 眞子

編集委員 高玉 敬子 古川 哲郎 渡壁 由美子